

蜂起

No. 33

共産主義者同盟赤軍派京都地区

「全京都の革命的若者、学生、人民諸君。」

「取次保決戦的北」といわれ、日本前段階武装蜂起の助成と世界階級斗争の後退の中で、七〇年代を迎え、至ての左翼潮流の混沌と停滞の中で、帝国内主義スルツヨアットのさらなる侵略と反革命戦争への遂行の中で、一時的な組織的後退、武装解除を強いられた我々赤軍派と革命戦線は、再び、武装に着手し、「前段階蜂起は世界革命戦争」勝利に向け、

1. 北米軍派集合をして、公然と大胆に登場するのである。このことを宣言する。万難を摩し、集合に参加されることを強く訴えるものである。

「北米」ヤニに、侵略と反革命戦争の遂行である。ヤニは帝国内主義の不内情在履の平準化、金融独占体の再編成化、諸帝国内主義の国家独占資本主義の成熟と至治の軍事化、産軍複合体の肥大化、過剰資本の増大として促進される。ヤニは、西独南-ECCによる東欧、ソ連の、日米南のYANO中口の粗み込みは、市場の拡大による帝国内主義の延命策とある。ヤニは、なご福コアリスムの更進化（各口の国家形態の轉換）とあり、基礎は、ヤニとヤニを基礎にした、帝国内主義軍隊の強化、軍至至治の産軍複合体の肥大化、自主依征と反共ナリヨナリスムの浸透化である。

帝国内主義スルツヨアットは、国家と占領資本主義の成熟（慢性的インフレ、産軍複合体の肥大化）による輸出競争の激化、対外援助（ドル配布、国際反革命同盟と后進国への軍事援助）の増大、米南の対外民間投資の増大によるドル、金の流出で引き起こされたIMR危機とスロツク化の衝動は、米ソ連、中口の軍事的優位性、労働者国家の存在、后進国革命戦争に規定されて、ストリートにはヤニが世界大戦に向うことなく、世界戦略を確定しつつある。

「後退」して、帝国内主義の内情膨張と「独資」の成熟を軍至至治と産軍複合体の促進として、労働者国家との政治的軍事的対立を平和共存に再編するものとして世界戦略は確立された。このことは、三スロツクをロレタリヤトへの矛盾の集中として、潜在的矛盾と結合し、大なるロレタリヤトの成熟の要因を形成する。

前段階蜂起は、なご福コアリスムの共行的対決であり、蜂起（意識的、政策的な）を媒介として、ロレタリヤトと結合されるのである。この世界性を保持した前段階蜂起こそ、世界スルツヨアットに対する世界ロレタリヤトの攻撃から対峙の段階へ移行せしめる結節標であり、その戦いのくり返りであり、革命党と大家との結合、全人民の武装を促進されるのである。国際根拠地と結合した前段階蜂起の頃として一切の階級斗争は抑え進めるべきであり、それ以外に前進はない。これを解せめ受承は、レーニン主義の現代的適用の誤りを犯し現代カウツキー主義へと転落する。彼らげ、どんな階級に分かつた言葉で表わそうと、現代過渡期世界に於ける現代革命論を根底的に理解し之を改め、それへの転落として、不断に、人民戦線左、右派へと分解するのである。

一、一八集合に参加せよ。一切の準備を七〇年前段階蜂起へ集中せよ。全京都の革命的人民は赤軍派に。

16 国際根拠地建設!

10年前段階蜂起貫徹!

赤軍派武装蜂起集

日時・1月16日 場所・東京神田全電通会館

連絡場所・東京都新宿区柏木2-276

入場料 300円 福田常夫宛 Tel 369-2380

赤軍派政治理論機関誌

No. 4・5・6 各号発中

16 集巻本

連絡 075-281-0431